

木曽川上流河川事務所が取り組む防災・河川環境教育のモデル校である安八町立名森小学校(5年生:79名対象)において、総合的な学習の時間として、防災教育(S51.9.12災害後の国土交通省の取り組みについて)を実施しました。

- 日 時：平成30年11月16日(金) 14:45～15:30(45分)
- 場 所：安八町立名森小学校
- 対 象：名森小学校5年生(2クラス:79名)
- 内 容：①S51.9.12災害及び復旧工事について
②S51.9.12災害後の国土交通省の取り組みについて
(先生主導によるグループワーク)

①S51.9.12災害及び復旧工事について



木曽川上流河川事務所

S51.9.12災害の概要及び、決壊箇所の復旧工事について説明



当時の映像や写真を視聴

～みんなの声～

- ・わたしたちの安全を守るために、様々な取り組みをたくさんしていることが分かりました。
- ・週に2～3回パトロールをして、ひびわれやもぐらの穴を見つけて埋めたり、川の様子をカメラで常時確認したりしていることを知りました。
- ・災害を防ぐために、色々な人たちによって支えられていることを知りました。
- ・災害は、いつ来るか分からないので、わたしも日頃から防災情報を家族で調べたいと思いました。

②S51.9.12の国土交通省の取り組み

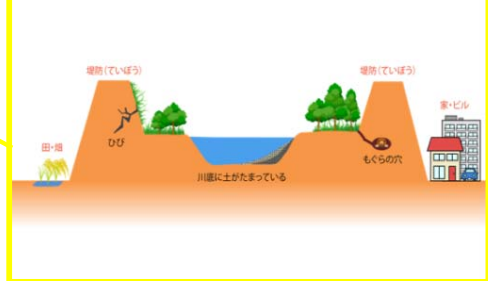
グループワーク 名森小学校 山口先生



グループワークの説明

水が溢れないようにするには、どんな工事を行ったらいいのでしょうか？

水があふれないようにするには、どんな工事を行ったらいいのでしょうか？



みんなで考えよう

【みんなの考えた意見】

- ・堤防を高くする
- ・ひびやもぐらの穴に水が入ると堤防が壊れてしまうため、ひびやもぐらの穴を埋める
- ・川底の土を取り除く
- ・川の水の量が増えると木が流れを邪魔するため、木を伐採する



考えたことを発表



木曽川上流河川事務所の解説